

<質問事項>

1. 海岸保全基本計画を主務大臣に提出する予定はいつですか？
2. 1も含め、気仙沼市域の各海岸の海岸保全計画案の説明、住民合意形成、実施設計までの日程を教えてください。

※9月の門脇河川課長様のご回答では、1回目の住民説明会での住民意向を汲んだ再度の計画案の住民説明にはニーズに応え開催に工夫をすとお答え頂いておりますが、他の災害復旧の説明会の折りに防潮堤についても一部説明をしている感があり、その事は自体は悪いことではありませんが、それが防潮堤に関しての説明会の全てになってしまうのではないかと心配しております。

防潮堤の建設は住民や圏域にとって非常に大きな問題でありますので、きちんと説明会開催のタイトルや目的に明示し、利権者のみならず市域に周知して開催することを住民は希望しています。

3. 宮城県議会でも出ておりましたが、理解が出来ませんでしたのでお尋ねしますが、「住民との合意形成をした」とはどのような過程、状況、状態をイメージされておりますか？
4. 被災地の置かれた状況、復旧復興の時間的、精神的制約から、住民の合意形成には、住民との意見交換で汲みあげた意向を反映した計画案を複数準備し、住民説明会を開催し、合意形成するのが合意も早いと考えますが、現在のところ説明会から次の説明会の合間も長く、また中々その様な準備で開催されていない様にお見受け出来ますが、複数案の選択肢を準備して進めることはお約束頂けますか？

※議会の答弁でも気仙沼市震災復興市民委員会などへも必要に応じて早い時期から住民に説明してきたとされておりましたが、市民委員会への説明会は昨年末頃に市民委員会が要請して実施したものであり、加えて、海岸にこのような巨大な堤防を建設することは考えられず、内陸側にセットバックする事が可能なのであればそうした案を絵にして出して欲しい（本年2月に絵としてご回答頂いている）など、住民が受け入れやすい計画案を要望していたにも関わらず、本年7月に気仙沼市域で説明された案は、どれも海岸淵での堤防ありきの計画で、挙句は観光名所や海水浴場の真上にそのものが無くなってしまふ様な計画案が示されていることを非常に残念に思い、今後もこの様に県が進めれば、復旧復興はどうしても遅れることになりかねないと心配するため質問するものです。

5. 今回の津波での従来からあった巨大堤防（例えば田老）の津波に対する功罪の検証結果が明確にされていなくように考えます。国で実施した結果を教えてください。どこかに公開されているのであれば教えてください。
6. 当初の計画案の根拠となっているシュミレーションの内容について、本会第1回の勉強会で講師を務めて頂いた門脇課長さんからも内容と結果の周知が不足していたお話がありましたが、シュミレーションについて、前提条件、設定条件、結果としての各浜の予想津波高、痕跡高、差、誤差修正高、その理由、計画高、差、その理由、その他必要な詳細があれば教えてください。

以上、宜しく願い申し上げます。